

うつくしま ふくしま 土地改良だより

No.524

平成27年6月



目 次

●第57回通常総会	2	●福島県「地域再生太陽光発電モデル事業」への取り組み	12
●平成26年度特別功労者及び 第56回土地改良功労者及び特別功労団体等の表彰式	4	●非補助農業基盤整備資金について	13
●全国水土里ネット第57回通常総会	6	●農業基盤整備資金の金利改定について	13
●全国水土里ネット表彰式	7	●金沢調整池・東部森林公園 「さくらと水辺の回廊」ウォーキング	14
●各協議会の総会開催	8	●平成27年 各種功労者知事表彰	14
●平成26年度各委員会の開催	9	●平成27年度水土里ネット福島 組織機構	15
●水土里ネット福島主催による研修会、説明会	10		

皆様と共に農村の復興のため、
歩んでいきます。

 水土里ネット福島

第57回通常総会

水土里ネット福島の第57回通常総会は、平成27年3月24日（火）に福島市「ベル・カーサ」で開催され、平成26年度特別功労者及び第56回土地改良功労者・団体等表彰式の後、下記議案の審議が行われ、満場一致で可決承認された。

最後に決議（案）の朗読があり、満場の拍手で採択された。

第57回通常総会提出議案

- 議案第1号 平成25年度事業報告・財産目録及び収支決算の承認について
- 議案第2号 平成26年度事業実施状況及び一般会計・特別会計中間監査の結果報告の承認について
- 議案第3号 平成26年度事業変更計画及び一般会計・特別会計収支補正予算の専決処分の承認について
- 議案第4号 平成27年度賦課基準及び徴収方法について
- 議案第5号 平成27年度役員報酬について
- 議案第6号 平成27年度事業計画及び収支予算について
- 議案第7号 役員の改選について



挨拶を述べる車田次夫会長



議長の八沢干拓土地改良区
但野幸一理事長

会長あいさつ

本日は、第57回通常総会を開催いたしましたところ、会員の皆様には、ご多忙にもかかわらず多数のご出席をいただき誠にありがとうございます。

また、福島県知事様並びに東北農政局長様はじめ、ご来賓の皆様には、年度末の大変ご多忙の中、ご臨席を賜り厚く御礼を申し上げます。

日頃、皆様方には、本会の運営はもとより、本県の農業農村の振興発展のため多大な御尽力をいただいておりますことに対し、あらためて深く感謝を申し上げます。

また、本日の総会におきまして、表彰を受けられます皆様には、これまでの永年にわたる土地改良事業への多大なる御功績と御労苦に対しまして、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、東日本大震災、そして、原発事故から早5年目を迎えました。

本会といたしましても、原子力災害からの復興加速化はもとより、農業の競争力を強化する農地の大区画化や暗渠排水による汎用化、農業水利施設等の長寿命化や防災・減災対策など、農業生産基盤を整備するために必要な土地改良事業の実施を重点的に支援して参りたいと考えております。

ご承知のとおり、本年度より農地集積を推進する農地中間管理事業や日本型直接支払制度が創設されておりますが、特に、日本型直接支払制度は、4月1日から法律に基づく制度となり、将来にわたって多面的機能が、適切に維持・発揮できるようにするとともに、担い手の育成など、構造改革の後押しをすることとしております。

本県の基幹的農業従事者は65歳以上が三分の二を占めており、高齢化、後継者不足による耕作放棄地の増加が懸念されている中、健全な農業生産活動には、水路、ため池等の農業用施設の適切な維持管理を実施している土地改良区の役割が重要であります。

地域の農業がこれらの農業政策を乗り越えるには、土地改良区の運営基盤の強化を図り、農地の大区画化や汎用化をさらに推し進め、土地改良区の組合員である農家の皆様方の農業所得を確保して、活力ある地域農業を育成していかなければならないと考えております。

引き続き、関係機関と連携を密にしながら、本会が長年培ってきた技術・情報を最大限に活用し、地域の農業の振興発展のために全力で取り組んで参りたいと考えておりますので、今後とも、会員皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本日は役員改選や平成27年度の事業計画及び収支予算など、7件の重要な議案を提出しておりますので、慎重なるご審議のうえ御議決を賜りますようお願い申し上げます。

福島県土地改良事業団体連合会役員名簿

(任期 H27.4.1～H31.3.31)

役職	氏名	他の役職
会長理事	車田次夫	母畑地区土地改良区理事長
副会長理事	山田忠彦	会津宮川土地改良区理事長
〃	渡辺一成	南相馬・鹿島町土地改良区理事長
専務理事	櫻田浩二	学識経験者
理事	原田光一	福島市土地改良区理事長
〃	賀藤貞	伊達西根堰土地改良区理事長
〃	佐藤源市	東和町土地改良区理事長
〃	本田陸夫	安積疏水土地改良区理事長
〃	鈴木義孝	三春町長、三春町土地改良区理事長
〃	野崎吉郎	矢吹町長、矢吹原・矢吹土地改良区理事長
〃	関谷亮一	白河市土地改良区理事長
〃	二瓶和馬	会津東部土地改良区理事長
〃	穴澤晃	会津北部土地改良区理事長
〃	齋藤善平	阿賀川土地改良区理事長
〃	大宅宗吉	南会津町長
〃	遠藤雄幸	川内村長
〃	草野弘嗣	小川町土地改良区理事長
総括監事	小抜勲	須賀川市土地改良区理事長
監事	馬場有	浪江町長、請戸川土地改良区理事長
〃	鈴木直春	布藤堰土地改良区理事長

決議

農業・農村は、国の大本であり、日本の豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であった初めて維持されるものである。
 しかしながら、農業・農村においては、過疎化・高齢化・後継者不足、さらには人口減少に伴う地域活力の低下に加え、コメを巡る状況も厳しさを増しているなど課題が山積しているほか、東日本大震災とそれに続く原子力発電所事故による被災地域では、一刻も早い復旧、復興を強く望んでいる。

また、農業水利施設の更新整備の遅れは、食料自給率の向上に支障を来すばかりでなく、更なる農村地域の災害の増加を誘発することが懸念される。

本県農業が今後とも持続的に発展していくためには、農業農村整備事業を始めとした各種の農業・農村の振興に資する施策の推進により、集落営農を含む担い手への農地集積の加速化、経営基盤の強化・拡大を実現し、攻めの農業を展開していく必要がある。

このため、現下の農業農村の現状を踏まえ、課題解決への施策が展開されるよう、左記事項について、関係機関へ強く要望することを総会の名において決議する。

記

- 平成二十七年までの東日本大震災集中復興期間を延長し、農地・農業用施設の復旧や農地の大区画化、農業水利施設の除染等の復興・再生の加速化を継続的に進めること。
- 国土強靱化の考えに即し、ため池を含む老朽化した農業水利施設の保全整備や耐震化等の防災・減災対策を着実に推進すること。
- 食料自給率の向上と担い手への農地集積の加速化を実現し、強い農業を展開するため、水田の大区画化や汎用化を推進すること。
- 健全な農業生産活動に必要な水路、ため池等の農業用施設を、今後とも適切に維持管理していきけるよう土地改良区の運営基盤の強化を図ること。
- TTP交渉において、日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を発揮している農業・農村とこれを支える農家の生産意欲に悪影響を及ぼすことは、断固行わないこと。
- 農村の資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及・土地改良施設の維持管理費の低減等に資するため、小水力発電等を推進すること。
- これらの政策推進のために必要な農業農村整備関係予算を確保するとともに、所要の地方財政措置を講ずること。

平成二十七年三月二十四日

福島県土地改良事業団体連合会
 第五十七回 通常総会

平成26年度特別功労者及び 第56回土地改良功労者及び特別功労団体等の表彰式

第57回通常総会において、永年、土地改良事業に功績があった特別功労者1名、土地改良功労者18名、特別功労団体3団体、永年勤続職員4名に対し、車田次夫会長より表彰状授与及び記念品の贈呈が行われた。

平成26年度特別功労者表彰

白河市 齋藤良道氏



齋藤良道氏（元 本会理事）

第56回土地改良功労者及び特別功労団体表彰

1. 土地改良功労者

(1) 役員

元：二本松市土地改良区理事長

江花川沿岸土地改良区理事長

江花川沿岸土地改良区理事

元：阿武隈川上流土地改良区理事長

白河市土地改良区理事

棚倉町土地改良区庶務理事

会津宮川土地改良区理事長

そうま土地改良区理事

井上用水堰土地改良区理事長

磐城小川江筋土地改良区理事長

阿部 與一 氏

橋本 明 氏

高橋 昭 氏

鈴木 俊夫 氏

和知 孝夫 氏

白瀬 清 氏

山田 忠彦 氏

佐藤 裕一 氏

下山田 嘉七 氏

松崎 仙助 氏

(2) 職 員

安積疏水土地改良区総務課課長補佐	市 川 加代子 氏
安積疏水土地改良区水利課係長	山 田 里 美 氏
母畑地区土地改良区総務課第2係長	森 田 多恵子 氏
戸ノ口堰土地改良区事務局長	鈴 木 誠 智 氏
会津宮川土地改良区総務課長補佐兼庶務係長	江 川 成 美 氏
会津大川土地改良区主任主査	阿 部 美紀子 氏
そうま土地改良区事業課長	天 野 勇 一 氏
遠野土地改良区職員	猪 狩 加代子 氏

2. 特別功労団体

郡山市田母神土地改良区
南郷土地改良区
三和土地改良区

3. 永年勤続職員 (20年)

総務企画部総務課主任主査	坂 内 智 広 氏
農村振興部農村整備課主任主査	菊 田 克 彦 氏
農村振興部環境整備課主任主査	紺 野 み の り 氏
農村振興部測量課主任主査	渡 辺 光 則 氏



全国水土里ネット表彰式

全国水土里ネット第57回通常総会後、「シェーンバッハ・サポー」(東京都千代田区平河町)において、全国水土里ネット表彰式が、全国から受章者並びに各水土里ネットの会員が多数出席して開催された。

野中全国水土里ネット会長の式辞、林農林水産大臣の祝辞の後、表彰式が行われ、本県からは土地改良功労者表彰の団体の部で3団体、個人では2名の方々が表彰された。



式辞を述べる野中会長



祝辞を述べる林農林水産大臣

第56回全国土地改良功労者等表彰

■団体表彰

【金賞】 白河市東土地改良区

【銀賞】 安達土地改良区
そうま土地改良区



白河市東土地改良区
穂積勝理事長 (左から3番目)



安達土地改良区
野地久夫理事長 (中央)

■個人表彰

【役員】 福島市土地改良区総括監事 芳賀 憲一郎 氏

【職員】 元：三和土地改良区職員 大島 初子 氏



福島市土地改良区 芳賀憲一郎総括監事



元：三和土地改良区職員 大島初子氏

各協議会の総会開催

福島県農地等集団化推進協議会 役員会・第51回通常総会

平成27年3月18日（水）、福島県農地等集団化推進協議会の役員会・第51回通常総会が福島県土地改良会館（福島市）において開催された。

役員会では、総会提出議案が承認された後、福島県農業振興公社 塚本課長が講師となり、「土地改良事業と農地中間管理事業」と題し、研修会が行われた。

総会では、平成26年度農地等集団化事業優良地区及び功労者の表彰等が行われ、その後議事に入り上程された4議案が審議され、全て承認された。



左から：
渡部氏、小島氏（柳津町土改区）、櫻田会長、天野氏

■平成26年度福島県農地等集団化推進協議会会長表彰

【優良地区】	柳津北部地区藤換地区	柳津町土地改良区
【功労者】	内山利一	矢吹原土地改良区
	渡部康徳	請戸川土地改良区

■平成26年度東北・北海道土地連絡協議会（農地集団化事業）会長表彰

【優良地区】	長峰地区	矢吹原土地改良区
	駒形第一地区	駒形土地改良区
【功労者】	天野勇一	そうま土地改良区

福島県農地・水・環境保全向上対策地域協議会 平成26年度第5回総会



福島県農地・水・環境保全向上対策地域協議会の平成26年度第5回総会が平成27年3月27日（金）、福島県土地改良会館（福島市）で開催された。

総会議事では、まず報告事項として平成27年度の推進体制について事務局からの説明と意見・質疑の後、協議事項に移り、提出された平成27年度事業計画（案）、事業予算（案）の2議案について審議の結果、総員挙手により可決された。

福島県農業水利施設小水力等発電推進協議会 平成26年度通常総会



平成27年3月27日（金）、福島県土地改良会館（福島市）において、福島県農業水利施設小水力等発電推進協議会の平成26年度通常総会が開催された。

総会議事では、まず事務局から4報告事項の説明及び質疑がされた後、協議事項に移り、提出された平成27年度事業計画（案）、収支予算（案）の2議案について審議され、挙手多数で可決された。

平成26年度各委員会の開催

平成26年度農道台帳管理委員会

平成27年2月10日（火）、福島県土地改良会館（福島市）において平成26年度農道台帳管理委員会が行われた。

議事では、まず報告事項として、平成25年度決算報告について事務局からの説明と質疑がなされ、続いて協議事項では平成26年度決算（中間）、平成27年度予算（案）など提出された6議案について審議され、全て承認された。

平成26年度福島県管理円滑化事業推進委員会



平成26年度福島県管理円滑化事業推進委員会は平成27年3月11日（水）、福島県土地改良会館（福島市）にて行われた。

当委員会は地方連合会が行う土地改良施設管理円滑化事業（土地改良施設の診断及び管理指導と土地改良事業に関する苦情・紛争の対策に係る業務）についての内容の検討を行うものとして設置されており、今回は平成25年度収支決算報告、平成26年度事業実施状況、平成27年度事業計画（案）などの6議案について審議が行われ、全て議案の通り了承された。

平成26年度福島県換地等強化事業推進委員会

平成26年度福島県換地等強化事業推進委員会は平成27年3月11日（水）、福島県土地改良会館（福島市）にて行われた。

当委員会は地方連合会が行う土地改良換地等強化事業（換地技術者等に対する講習及び研修、換地事務に関する指導、農地利用集積推進対策の実施など）についての内容の検討を行うものとして設置され、今回は平成25年度収支決算報告、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画（案）などの5議案について審議が行われ、全て議案の通り了承された。



水土里ネット福島主催による研修会、説明会

平成26年度 県北支部管内土地改良区役員・職員、市町村担当職員研修会

平成27年1月30日（金）、「平成26年度 県北支部管内土地改良区役員・職員、市町村担当職員研修会」が約130名の参加により、福島県土地改良会館（福島市）で行われた。

当日は、東北農政局、福島県県北農林事務所及び本会職員の方々を講師に「県北地方における農業・農村整備事業の展開」、「福島再生加速化交付金（農業水利施設等保全再生事業）」、「人・農地プラン」、「水土里情報を活用した多様な取り組み」、「多面的機能支払交付金」、「農業（土地改良）の昔話」等の説明を受けた。



平成26年度 土地連南会津支部研修会

平成27年2月17日（火）、18日（水）の両日、南会津地方広域行政センター（南会津町）において「平成26年度 土地連南会津支部研修会」が行われた。

研修会には、管内の町、土地改良区の担当者等約25名が参加して、初日は「多面的機能支払交付金」、「中山間地域総合整備事業」、「経営体育成基盤整備事業」等の事業制度をはじめ、小学校を対象とする体験学習「畑の学校・水土里を育む普及促進事業」の説明が、講師である福島県南会津農林事務所の方々より、説明を受けた。本会からも「多面的機能支払交付金にかかる取り組み」等の情報提供を行った。

二日目は、福島県南会津農林事務所内において、農業農村整備事業及び土地改良区の運営にかかる各個別の懸案事項について協議した。

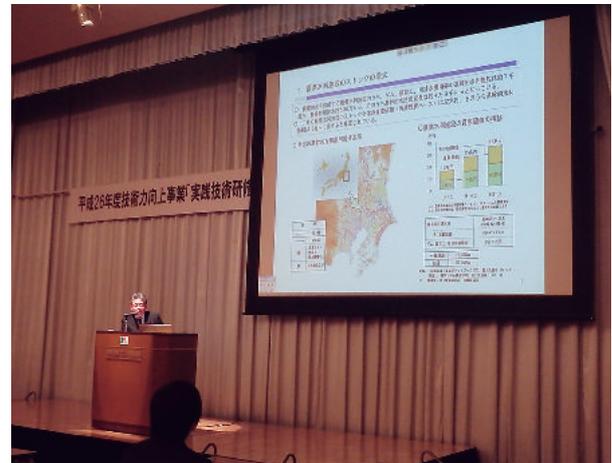


平成26年度 技術力向上事業「実践技術研修会」

平成27年3月2日（月）、福島グリーンパレス（福島市）において平成26年度 技術力向上事業「実践技術研修会」が行われた。

当研修は、水土総合強化推進事業（技術力向上事業）において土地改良区の役職員等に対し農業農村整備事業に関する基礎的、専門的知識の習得を図ることにより技術力向上に資することを目的に地方連合会が実施している事業である。

当日は、県内の土地改良区等の担当職員等約50名が参加し、「農業水利施設ストックマネジメントの実践」、「土地改良区の会計（複式会計導入に向けて）」、「福島の食と農の再生に向けて」、「再生可能エネルギーの導入」、「NN 事業における小型無人航空機等の ICT（情報通信技術）活用」などについて講師である本会職員その他、福島大学 林特任准教授、（株）アスコ 川村氏の方々より説明をいただいた。



土地改良施設維持管理適正化事業説明会

平成27年3月27日（金）、「土地改良施設維持管理適正化事業説明会」が福島県土地改良会館（福島市）で行われた。

当説明会は、翌年度新規加入および工事実施を予定する団体を対象に円滑な事業実施を図る目的で、毎年行われており、今回は新規、実施に関係する17団体の担当者が出席した。

当日は事業に係る留意点、平成27年度に新規加入および工事実施を予定する地区の事務手続きの流れとスケジュールを中心に説明がされ、その他に実施計画の変更申請、交付決定前着手届の手続きや工事実施翌年に行う交付金に係る消費税相当額の報告等の手続き等についても併せて説明が行われた。

また、出席した団体に対し施設の定期的な整備補修の必要性や整備改善による管理の効率化及び労力節減を図っていく上で、今後も継続的な新規加入の検討をお願いし、事業推進の啓蒙を図った。

福島県「地域再生太陽光発電モデル事業」への取り組み

本会及び南相馬土地改良区（南相馬市）では、福島県「地域再生太陽光発電モデル事業」補助金を活用し、50kwの太陽光発電システムを平成27年3月に設置した。

本会は、ため池（双葉郡広野町）の水面を利用した設備、南相馬土地改良区は、用水路敷地を利用した太陽光発電設備を建設し、農業水利施設の維持管理費軽減と地域農業の再生加速化に資することとしている。



(本会：ため池の水面を利用したフロート式太陽光発電)



(南相馬土地改良区：排水路敷地を利用した太陽光発電)

非補助農業基盤整備資金について

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国の補助を受けないで、かんがい排水事業やほ場整備、客土などの農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合のほか、土地改良施設の維持管理のための整備補修、土地改良区事務所の建設・改修などに対し、農家負担の軽減を目的に低利で融資する資金です。

また、その他に農業基盤整備資金では、発電施設の設置、複式簿記のシステム導入の費用も融資対象となります。

■対象となる事業種類

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道（軌道等運搬施設を含む。）、農地造成、維持管理、防災、農地保全、農業集落排水、埋立、干拓、干拓関連、床締、心土耕、石れき除去、酸性きょう正、飲雑用水、畦畔整備、牧野の改良・造成、牧野利用施設整備

○維持管理事業の主な用途

施設の種 類	維持管理事業の例示	施設の種 類	維持管理事業の例示
揚（排）水機場	揚水機、電動機の分解・補修 防塵装置の塗装・補修 通信情報用施設の補修	畑かん施設	揚水機、空気圧縮機、撤水施設等の機器類の補修 送水管・給水栓・電動弁の補修・更新 敷砂利、橋梁の塗装
ダム、頭首工、水門 ため池	門扉・開閉装置の補修・塗装 フェンスの新増設等 取水ゲート、土砂ゲート、開閉装置等の塗装・補修 堤体の補修、堆積土砂のしゅんせつ 操作室の建屋、フェンス等の補修 観測・通信用施設の補修	農道 施設管理施設	基礎・建屋・フェンス等の補修 フェンスの新増設等 観測・自動制御機器類の取得・更新 通信・警報装置の新増設等
用排水路	護岸・床張の塗装・補修 分水工・落差工等の塗装・補修 路線の一部の改修・しゅんせつ 管水路の破損部分の交換・補修 ジョイント部分の補修	土地改良区の事務所 車両・船舶・器具等 調査費	事務所の新増設、補修（維持管理事業を行っている場合に限る。） 取得、更新（維持管理事業遂行上、必要不可欠なものに限る。） 水利権更新に伴う調査 維持管理計画書や土地改良施設台帳の更新のための調査

※ ただし、点検整備等経常的なものは対象外

○農業集落排水事業の主な工事内容

- 宅地内排水管敷設、屋内排水管敷設、集水ます、合接ますの設置
- トイレの改修工事
- 浴室の改修工事（限度額100万円）、台所の改修工事（同50万円）、洗面所の改修工事（同10万円）

■貸付条件

償 還 期 限 最長25年（うち据置期間 10年以内）
 融 資 限 度 額 負担額の100%まで融資が可能。（ただし、1件当たり最低額は50万円）
 利 率 一般0.8%（平成27年5月27日現在）

農業基盤整備資金の金利改定について

株式会社日本政策金融公庫の農業基盤整備資金について、下記のとおり平成27年5月27日付で改定されたのでお知らせします。

◎株式会社日本政策金融公庫

区 分	改 定 前					改 定 後				
	融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）				融資期間にかかわらず	融資期間別（一例）			
		5年	10年	15年	20年		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	0.85	—	—	—	—	<u>0.95</u>				
団体営補助残	0.70	—	—	—	—	<u>0.80</u>				
非補助一般	0.70	—	—	—	—	<u>0.80</u>				
非補助利子軽減	0.70	—	—	—	—	<u>0.80</u>				
災害復旧		0.35	0.35	0.55	0.70		0.40	0.45	0.65	0.80

(H27.5.27 現在)

金沢調整池・東部森林公園 「さくらと水辺の回廊」ウォーキング

春の風を感じ、散策しながら農業用施設を学ぶ

平成27年4月18日（土）、国営郡山東部地区管理体制整備推進協議会主催により、郡山市東部土地改良区が管理する金沢調整池と郡山市東部森林公園を散策する「さくらと水辺の回廊」ウォーキングが開催された。

今年で4年目を迎え、当日は県内から約100人が参加し、水辺の景観と歩道に植えられた桜の美しい花をめでながら約5キロのコースを散策した。

このウォークは土地改良施設の見学とあわせ、施設が有する景観形成、親水機能、防火用水機能などの多面的機能をウォークを通し理解を深めてもらうことを目的に行われている。

参加者には記念に美しい花をつけたサクラとモモの枝が配られ、昼食時には地元の食材で作ったなめこ汁とネギ焼きが振る舞われ、疲れた体を癒やした。



平成27年 各種功労者知事表彰

福島県は、5月3日付けで平成27年度 各種功労者知事表彰の受賞者を発表した。

本会関係者からは、遠藤重佳氏（元郡山市河内土地改良区理事長）、増井俊弘氏（柳津町土地改良区理事長）、渡辺一成氏（元南相馬市長、県土地改良事業団体連合会副会長理事）の3名が受賞された。

○土地改良功労



元：郡山市河内土地改良区理事長
遠藤 重佳 氏



現：柳津町土地改良区理事長
増井 俊弘 氏

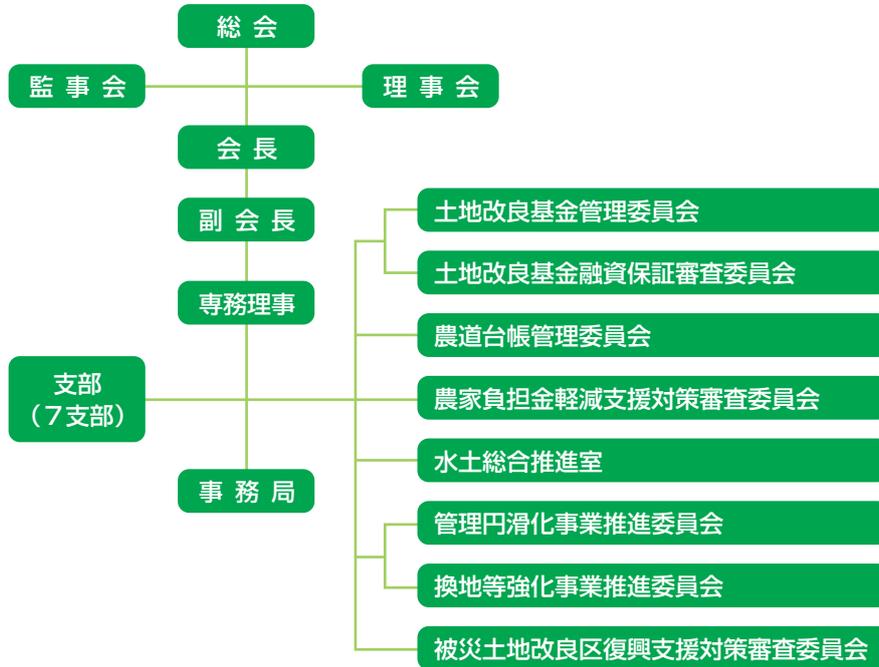
○地方自治功労



元：南相馬市長
現：南相馬、鹿島町土地改良区理事長
現：県土地改良事業団体連合会副会長理事
渡辺 一成 氏

平成27年度水土里ネット福島 組織機構

組織機構



事務局機構及び事務分掌





県内の土地改良区ホームページをご紹介します。

- 福島市土地改良区 <http://fukutokai.web.fc2.com/>
- 伊達西根堰土地改良区 <http://sky.geocities.jp/datenishine/>
- 安積疏水土地改良区 <http://www.asakasosui.jp/>
- 矢吹原土地改良区 <http://yabukihara.org/>
- 会津北部土地改良区 <http://www.aizuhokubu.or.jp/>
- 会津宮川土地改良区 <http://www.aizumiyakawa.jp/>
- 雄国山麓土地改良区 <http://www.akina.ne.jp/~oguni.36/>
- 猪苗代町土地改良区 <http://www8.ocn.ne.jp/~inadokai/>
- 南相馬土地改良区 <http://midorinet-minamisoma.jp/>
- 請戸川土地改良区 <http://www.ukedogawa.jp/>
- 愛谷堰土地改良区 <http://www8.plala.or.jp/aiya/>
- 鮫川堰土地改良区 <http://www.ac.auone-net.jp/~samegawa/>

土地連の登録内容及び有資格者数

土地連の登録内容 (H27.4.1現在)

登録内容	登録年月日・登録番号
ISO9001:2008/JISQ9001:2008 マネジメントシステム登録 	H27.2.16付更新 登録証番号 JQA-QMA13143
建設コンサルタント	H22.12.3付更新 建22第7079号 農業土木部門
一級建築士事務所	H24.4.9付更新 第11(404)1975号
計量証明事業登録	H7.7.3付登録 第環34号
測量業者登録	H22.9.7付登録 登録第(1)-032811号
浄化槽保守点検業者登録	H27.5.14付更新 福島県知事登録第1353号
農業農村整備事業 発注者支援機関認定	H23.4.1付認定 第1107号

各種有資格者数 (H27.4.1現在)

NO	資格名称	資格人数	
測量業者部門	1 測量士	19	
	2 測量士補	20	
	3 GIS 1級	1	
建設コンサルタント部門	4 技術士(農業部門)	6	
	5 技術士補(農業部門)	13	
	6 技術士補(環境部門)	1	
	7 R C C M (農業土木)	7	
	8 R C C M (下水道)	1	
	建築コンサルタント部門	9 1級建築士	1
		10 2級建築士	1
	計量証明事業部門 換地部門	11 環境計量士	1
12 土地改良換地士		7	
13 土地改良補償業務管理者		5	
集落排水、維持管理部門	14 上級農業集落排水計画設計士	6	
	15 農業集落排水計画設計士	1	
	16 浄化槽技術管理者	17	
	17 浄化槽管理士	17	
各部門関連資格	18 コンクリート診断士	1	
	19 土地改良専門技術者	6	
	20 1級土木施工管理技士	7	
	21 2級土木施工管理技士	2	
	22 1級建築施工管理技士	1	
	23 1級電気工事施工管理技士	1	
	24 第二種電気工事士	1	
	25 第三種電気主任技術者	2	
	26 1級管工事施工管理技士	1	
	27 2級管工事施工管理技士	2	
	28 浄化槽設備士	6	
	29 公害防止管理者	1	

お知らせ：「農家のみなさんへ」の放送内容は、水土里ネット福島のホームページに掲載しております。
ホームページアドレス <http://www.midorinet-fukushima.jp> にて、ご愛読くださるようお願い致します。

農業農村整備の調査測量設計・農業集落排水事業・換地業務・確定測量・その他土地改良事業のご相談は



福島県土地改良事業団体連合会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地